

「命を大切にし、生きる」

校長 石田 雄介

先週はご多用のところ個別懇談においでいただき、ありがとうございました。

わずかな時間でしたが、お子さんの成長や学習の様子について保護者様と直接お話し、お伝えする貴重な機会となりました。お子さんがより望ましく成長できるよう、今後も家庭と学校で足並みを揃えて育てて参りましょう。

さて現在、職員玄関の廊下に水槽を設置し、鮭の稚魚を飼育しています。4年生が総合の学習の一環として日々観察を続けているところです。6日月曜日に水槽を見ると、卵がかえり、お腹にイクラを付けた稚魚が生まれていました。300くらいの稚魚が、まるで打合せをしたように一斉に孵化するのは、まさに自然界の不思議です。日々大きくなる一匹一匹が泳ぐ姿を見ていると、思わず「元気に育ってね」と声をかけたくくなります。そしてこの小さな一匹一匹の一つずつ、「命」があるのだと思うと愛おしくなります。人工孵化と放流により成長して戻ってくる鮭の回帰率は、日本海側では1%程度のです。鮭の稚魚たちはそんなことを恐れず、必死に生きようと泳いでいます。

最近のニュースでご存知のように、子どもの自殺者が悲しいことに増えています。未来ある尊い命が失われた話を聞くと、胸が痛みます。私は、そのようなことが五泉南小の子どもたちに絶対にあってはならないと考えています。職員には、あらためて一人一人の子どもの様子をよく見ること、積極的に声をかけていくこと、気になる様子や情報はすぐに共有し迅速に対応することを確認し、教育活動を続けています。

さて、冬休み前の全校集会で、私は子どもたちに次のような話をしました：

冬休みの合言葉は、「**じ・り・つ**」です。

「**じ**」=自分から進んで取り組む冬休みに。

- ・あいさつ、学習、手伝いや仕事…自分から気持ちよくやりましょう。

「**り**」=リズムをくずさない冬休みに。

- ・夜更かしや朝寝坊で体調をくずさないよう、一日の生活のリズムを保つように努めましょう。

「**つ**」=次のめあてを見つける冬休みに。

- ・今年の自分を振り返り、新年はどんな自分を指すか、見つけましょう。

「事故や感染症」に気をつけ、「命」を大切に、「じりつ」を合言葉にして、健康で楽しい冬休みをすごしてください。

年が明けたら、また元気に会いましょう。

教育の目的は人格の完成であり、**自立できる子ども・未来を生きる力の育成**が最重要課題です。誰一人取り残さず、健やかに子どもを育てることが、今こそ家庭と学校に求められています。来年も頑張ります。どうぞ良いお年をお迎えください。